

友好の絆

29



川越市日本中国友好協会
事務局/会報編集室
川越市脇田新町14-1-2F
TEL:049-241-7325
E-mail: info@ifkj.jp



2015新春・春節特集号



新年あけましておめでとうございます。

昨年6月には、会員皆様の力強いご協力を頂き、全国女性委員会結成30周年記念大会をここ川越で開催することが出来ました。全国より100余名の女性委員会員が一同に会し、女性の力で、新たな日中の良好な関係の波を興す事を誓い合う事が出来ました。心よりお礼申し上げます。

川越市日中友好協会の活動も、在日留学生のお世話や、日頃の交換会を通して中国との友好交流を続けております。

11月30日には、連続講座「薬膳料理と健康セミナー」が、盛会のもとスタートすることができました。中国人の主婦の方も一緒に包丁を握りました。

目立たないところでの交流活動が大河となって、隣国との良好な関係を生み出すことを信じて、今年も皆様と共に活動してまいります。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

川越市日中友好協会会長 本田幸子

NPO 法人 埼玉県日中友好協会の活動紹介

個人会員及び各地区協会からの推薦会員で構成されている。思想・信条・政党の違いを超えて日中友好の一点で集い合い活動している。

主な活動

- ① 中国語発表の集い／毎年10月中旬頃開催され、高校生や各地区中国語教室、一般参加者等が意見発表・寸劇などを発表し競い合っている。
- ② 山西省緑化事業／2004年から協力事業を開始し、植林面積200ha、植樹本数・330本の実績をあげている。この事業は本年度をもって終了の見込みである。
- ③ 「文化教室」の実施／中国語教室や篆刻教室を開催中。
- ④ 各種講演会の開催

これからの川越市日中友好協会予定

☆中国大学生ホームステイ 川越市日中では4人の方にご協力いただき、1月31日～2月1日に受け入れ実施予定。

☆3月下旬 「交流の集い」を計画しています。今までの新年会にかえて、多くの方に集まっていただき、交流する集いです。日程・場所が決まり次第お知らせします。

太極拳教室を担当して

2015年の新春を迎え、川越市日中の教室が始まって今年で12年になりました。

音楽の指揮者は50歳になってようやくスタートラインと聞きました。経験を積むこと、その年代になって見えてくるものが大切ということでしょう。この間に私も50を過ぎました。3年やって入門者、5年やってどうにか形になる、という言葉に頷けるようになりました。

一般に「伝統」の世界では何十年も先をみて仕事をするそうです。良い道具は親から子へと受け継がれます。10年後には使い物にならなくなるハイテク製品とは別物です。20年後、果たして私は教室で教えているのか？どんな太極拳をやっているのか、それが楽しみです。

太極拳講師 芹田 功





欢迎来朋友



川越にゆかりのある中国留学生「春節」を語る！

遼寧師範大学卒業
現在筑波大学研究生 邵宇晨

2015年の春節は2月19日です！

大連外国語大学を卒業
現在桜美林大学留学生 伊桦

廈門の春節

廈門は南の都市である。春節の時、北の都市のようににぎやかではないが、廈門なりの習慣風俗もある。旧暦の大晦日の夜、家族皆はわざわざ、各地から集まって、お鍋みたいなものを食べながら、春節の交歓会を楽しんでいる。社会の発展とともに、昔の風俗はだんだんなくなっているけれど、旧暦の正月の最初の三日間のイベントはまだ残されている。

旧暦の正月一日に、皆はお互いに親族の家に集まって、新年の挨拶をする。そして、次の日に、婿は妻のお父さんの家に挨拶をしに行く。三日目はちょっと違う。廈門の習慣風俗に従って、多くの人はこの日に、亡くなった家族の人を追悼する為、忙しくなるから、お互いに新年の挨拶するのは忌みとして、避けていく。経済の発展につれて、廈門に仕事に来る人が増えている。春節になって、それらの人が故郷に帰るため、近年廈門の春節の雰囲気はどんどん寂しくなっている。でも、平時のようににぎやかではないけれど、廈門の市民にとって、家族と一緒に嬉しく過ごすチャンスではなからうか。(原文のまま)

*中国語文は別紙付録あり

春節随筆

春節を迎えると、すべての人は家族が幸せで健康でありますようにと祈り、外では子どもたちが花火や爆竹に興じます。打ち上げられた花火は色とりどりの大輪の花が咲きほこり、漆黒の夜空は、たちまち明るくなり、黒一色の家々の屋根や、遠くの山並みさえ微かに見ることができます。花火があがるたびに人々は夜空を見上げ歓喜の声をあげます。一方、家では湯気の立ち上るごちそうが用意され、家族全員が食卓を囲んで、「春節晚会」(日本の紅白歌合戦のようなテレビ番組)を見ながら新しい年が来るのを待ちます。老人たちも孫たちの傍らで一緒に楽しんでいます。少女たちは何の話をしているのでしょうか。額を寄せ合った楽しそうです。

年が明けると、「恭喜发财」と互いに新年の挨拶をします。新年には親戚や知人の家に新年の挨拶にいき、お年玉をたくさん手に入れたものです。時には、からかいから煙草をくれる人もいました。好奇心から口にしたものの、いやな味にすぐ吐きだし、残りを父に渡したものでした。新年を迎えるとこのように家族全員から笑みがこぼれます。

日本語要約 編集委員



咲紀せんせいの No2
ワンポイント中国語



「あけましておめでとうございます」を中国語で『新年快乐』(xīnniánkuàilè) (シンネン クワイルウ) といいます。

また会話の中ではよく『新年好!』『过年好!』という表現もよく使われています。今年は、羊年なので、『新年』のところを『羊年』にも代えることができますね。

なみに中国のお正月は、一般的に旧暦の1月1日を指し、『春节』(chūnjié) (チュンジエ) といいます。☆年男・年女ひつじ年の方はいらっしゃいますか? 自分の干支の年のことを『本命年』といいます。中国では厄除けの意味を込めて、『本命年』の時には赤いものを身に着ける習慣があるようです。

☆お正月は何かとお酒の席が増えますね。

皆様ご存知のように、中国語の乾杯は『干杯』といって、基本飲み干すことになります。でも毎回飲み干すのは大変ですよ。そんな時には、『干杯』のあとに『随意』とつけると、“自分のペースで”という意味合いになります。とっても便利な言葉ですよ。

では、祝大家在新的年里, 身体健康、心想事成! 祝大(zhùdà)家(jiā)在(zài)新(xīn)的(de)一(yì)年(nián)里(lǐ), 身(shēn)体(tǐ)健(jiàn)康(kāng)、心(xīn)想(xiǎng)事(shì)成(chéng)! (ジューダージャー ザイシンニエンリ シェンテイ ジェンカン シンシヤンシーチェン)

(新しい一年、皆様が健康で、願いが叶いますように。)

川越市日中友好協会会員 吉田咲紀



処変わればバス停も変わる

大連の周子国際航空場から大連市内へ行く方法は4つあります。① km離れた公共バス ② リムジンもどきのバス ③ 飛行場の端にあるメーターの料金で行けるタクシー 但し、待ち人の行列は長く、タクシーはなし。通称白タク（日本の白タクと違い正規のタクシー）。④ 正面にいるタクシーの利用。料金は交渉による。待ち人はなく、タクシーは一杯。通称黒タク。（日本でいう白タク）それぞれ料金は2元 不明 20元 交渉により80元から150元となっています。今回は②のリムジンもどきのバスの乗車体験を披露します。リムジンバスが乗り場に行き、乗ろうとすると其の側に屯（たむろ）している4~5人の男性に呼び止められる。「どこまで行くか」と尋ねられる。辛うじて分かり「大連駅」と答える。それでもバスに乗せてくれない。周りの男が次々と質問してくる。埒が明かなくなり、黒タクシーを利用しようと、その場を離れかけたとき、日本語で女性の声が出た。「日本語で大丈夫です」と。ほっとして若き女性と向き合い、「どうして乗せないの」と尋ねたところ、彼女の第一声は「どこのホテルか」であった。「ホテルは大連駅に近いので、大連駅で良い」と答える。それでは駄目だと。ホテル名を教えろとしつこく聞く。「ホテルの名は」「大連駅で良い」の応酬が続き、だんだん腹が立ってきた。その感情が相手に伝わり、なんてバカな男なのという表情が女性に出てきた。ここでリムジンバスは諦めた。その時、同行の人が名刺を持って渡す、やっと乗車が許可される。この料金うる覚えですが10元。20分待ってもバスは出ず。中型車に乗り換えろとの指示。ジャンパーを着た頭の側頭部に傷があるお兄さんが仕切っている。心細いこと甚だしい。通路、座席まで鞆をいっぱいにして出発する。➡

私と中国

☆会員の中国交流エピソードを紹介！

➡ 宿泊ホテルへいちいち送り届けるのだ。因みに空港ロビーからの所要時間は1時間くらい要しました。もう少し自分の中国語が出来れば、中国女性の日本語能力がもう少し高ければと思いました。貴重な”処変われば、バス停も変わる”を体験しました。

本当に「旅行は脳の活性化」に役立ちます???

中級中国語教室 柴垣 勲

写真は先生とクラスメイト

大連留学記（その二）

* 28号大連留学記の続き



3（大学へ）私が留学した大連交通大学は旧満州鉄道が創立した鉄道学院が其の前身といわれています。この大学の国際交流学院へ来てまず驚いたのは日本人の老人の多さでありました。60名位の留学生の内、約50名は日本の老人でしかもその2割は女性で占められており、残りは20代の日本人青年2名とあとは韓国人の青年男女で、30代から50代の働き盛りの人はさすがに皆無、ここはまさに日本の老人大学という印象を強く受けました。

4（寮）寮は個室でシャワー、トイレ、ガス、流し台、冷蔵庫など一応設備は整ってはいますが、以前は交通大学の学生寮だったそうで、設備は古く、トイレもしばしば詰まったり、水道の水は栓がしっかり閉まらずポタポタ漏らし、電灯や扇風機は点けるとやけに大きい音が出たり、また布団も汚く最初の内はさすがに面喰いました。ある日本の貴婦人はここには住めないと予定を繰り上げて帰国してしまった程です。昔の日本の大学の寮を想像していただければこれに近いと思います。ところが慣れとは恐ろしいものでしばらく住むとこれらのことも、住めば都で殆ど気にならなくなりました。またこの寮の建物の中に教室があるため授業に行くのに極めて便利でした。

川越市日中友好協会会員 新井紀男

薬膳料理&健康セミナー開催

日時：2014.11.30

於：川越市北部地域ふれあいセンター

第1回セミナーは、薬膳講座にプロのシェフ・荒畑さん、中国薬膳デザートでは参加者の孫さんが指導していただきました、健康セミナーは新井満さんに担当していただきました。参加された方からは、「おいしくて、ためになった！」と大変好評で、中国出身の方2名を含め18人が参加されました。来年度も引き続き、第2弾を予定しています。

*みなさんに好評の健康体操は別紙付録あり。

参加者の感想

1.薬膳料理

- ◆おいしくて健康に良いと思った。
- ◆薬膳カレーでは、入れたことのない牛蒡と大豆の風味がよかった。
- ◆体にいいので家でも作ってみたい。
- ◆講師の方の丁寧且つ親切なご指導でスムーズに調理ができた。
- ◆故郷中国の点心を紹介できてよかった。
- ◆みなさんに喜んでいただけてホッとしました。



薬膳講座担当荒畑さんの声

2.健康セミナー

- ◆もっと、話が聞きたいので次回が楽しみ。
- ◆薬に頼る生活習慣を改めたいと思った。肩こり・耳鳴りなどの話が役に立った。自分の持っている力で、病気が治せたら一番いい。
- ◆病後だったので、とても勉強になった。
- ◆体操もよかった
- ◆危険な安売肉や卵の恐ろしさを知った
- ◆ シリーズ化を期待します！



原稿募集中！



川越日中友好協会会員・川越日中教室の受講生・川越にお住まい、あるいはゆかりのある中国の皆さんのご意見、「身近な日中友好」エピソードなどを、お寄せください。 編集委員一同

新春 COLUMN 「知日」

■日本語も出来ない、日本の生活経験もない33歳の蘇静（ス・ジン）氏は、今中国で人気を呼んでいる月刊誌『知日』の編集長だ。中でも、彼ならではの視点で毎号の特集が魅力らしい。これまでに「猫」「断捨離」「漫画」「手帳」などを取り上げてきた。近いうちに「南部鉄器」を取り上げるという。■近年特に政治とビジネスが偏頗な日中関係を表してきた。しかし『知日』の多くの読者は日本人のお辞儀の角度とか、食事のマナーとか、礼儀正しさなどから日本人に敬意を払っているという。視点を変えると“へえー”と、感覚のズレに気づかされる。■神戸国際大学の毛丹青教授は、日本人から見る中国文化は「漢方薬」「論語」「三国志」などで、現代のリアリティを持った中国文化を知ろうとしていないと言う。■アメリカの詩人、ヘンリー・ソローは「人は静かな絶望に生きる」と言った。表面化されて伝わる政治の世界に惑わされて行動しないのではなく、一步深く心の文化へ触れることが大切なのだろう。ソローは「善は決して失敗することのない唯一の投資である」とも言っている。

川越市日中友好協会会員 新井 満



編集後記

『新年好！』今回、友好の絆2015年新春・春節特集号を皆様にお届けできる事は我々編集委員一同最大の喜びです。所変われば新年の過ごし方、感じ方に違いがあり、それらの文化・歴史の違いを感じ互いに理解し合う事が重要だと思います。その意味から今回は、日本の新年と中国の春節の特集としました。

ところで在日中国人の方で2月19日中国の春節パーティーに我々を招待していただけませんか？互いに友好を深めて大いに盛り上がりましょう！（及川）

新会員を募集しています！

川越市日中友好協会では、新たに会員を募集しております。民間交流は平和と発展を築く礎です。今後の日中両国の未来を視野に、活動をしています。

●お問い合わせは下記までお願い致します。

電話：049-241-7325 FAX：241-7382

HP：www.ifk.jp

●年会費／3,000円（中国人留学生は1,000円）